

たいじょうほうしん  
**高齢者の帯状疱疹定期予防接種を受けるにあたっての説明書**

**<帯状疱疹とは>**

帯状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。帯状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

**<定期接種の対象者>**

1. 令和8年度に、下記の年齢となる方

年齢	生年月日	年齢	生年月日
65歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生	85歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生
70歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生	90歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生
75歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生	95歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生
80歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生	100歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日生

※令和12年度以降は、満65歳の方のみ対象となる予定です。

※帯状疱疹にかかったことがある方も、定期接種の対象となります。

※これまで帯状疱疹ワクチンの接種を受けたことがある方（生ワクチン1回または組換えワクチン2回を完了している方）は、原則定期接種の対象にはなりません。

2. 満60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害を有する方

**<帯状疱疹ワクチンについて>**

帯状疱疹ワクチンには「生ワクチン」、「組換えワクチン」の2種類があり、助成はどちらか一方となります。いずれのワクチンも、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン(阪大微研)「ビケン」	組換えワクチン(GSK社)「シングリックス」
接種方法	1回（皮下に接種）	2回（筋肉内に接種）
ワクチンごとの注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明らかに免疫機能に異常のある病気があり、免疫抑制をきたす治療（副腎皮質ステロイド剤や免疫抑制剤を使用）を受けている方は接種できません。</li> <li>○輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は、治療後6か月以上おいて接種してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下または低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。</li> <li>○筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。</li> </ul>
接種できない方	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）</li> <li>② 重い急性疾患にかかっている方</li> <li>③ 受けるワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方</li> </ul>	
接種に注意が必要な方	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患がある方</li> <li>② 予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方</li> <li>③ 過去にけいれんを起こしたことがある方</li> <li>④ 過去に免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方</li> <li>⑤ 本剤成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方</li> </ul>	

## <帯状疱疹ワクチンの効果>

		生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
帯状疱疹に 対するワクチン の効果	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

※合併症の一つである、帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

## <帯状疱疹ワクチンの副反応>

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、ギラン・バレー症候群がみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
70%以上	—	注射部位の疼痛
30%以上	注射部位の発赤	注射部位の発赤 筋肉痛、疲労
10%以上	注射部位のそう痒感、熱感 腫脹、疼痛、硬結	頭痛、注射部位の腫れ 胃腸症状、悪寒、発熱
1%以上	発疹、倦怠感	痒み、倦怠感、全身疼痛

## <他のワクチンとの同時接種・接種間隔>

いずれの帯状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン(阪大微研)については、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

## <予防接種健康被害制度について>

予防接種により健康被害が生じた場合は、申請し認定されると、法律に基づく救済(医療費や障害年金等の給付)を受けられます。詳細については、下記へお問合せください。

## <長期療養特例について>

対象年齢において、長期にわたり療養を必要とする疾患にかかった等の特別な事情により、予防接種を受けることができなかつたと認められる方については、特別な事情がなくなってから1年は定期接種の対象となります。詳細については、下記へお問合せください。

**【問い合わせ先】 鶴岡市健康課 予防接種担当 ☎ 0235-35-0157**

各地域庁舎市民福祉課(朝日庁舎は地域づくり推進課)

藤島庁舎 ☎64-5810(直通)

羽黒庁舎 ☎26-8774(直通)

櫛引庁舎 ☎57-2116(直通)